



# 望と勇

令和7年5月1日  
No.6  
文責 田中 誠

## 校長講話 声をきく

1学期の始業式に校長先生が皆さんにお話したことを覚えていますか。近くの人と話してもいいので思い出してみてください。思い出したら手を挙げてね。

「困ったことがあつたら担任の先生に相談しましょう。担任の先生には言いにくいなと思ったら、学年の先生やその他の相談しやすいなと思える先生に相談しましょう」というお話をしました。一ヶ月が経ちました。もう一度思い出してみてください。

さて、今日はみんなと考えたいことがもう一つあります。

(小池先生と土屋先生とで役割演技。すれ違い様に、小池先生は大きな声で「おはようございます！」、土屋先生は小声で「おはようございます」)

小池先生のあいさつ、どうでしたか。そうだね、よく聞こえたね。元気だったね。人生楽しそうだったね。

土屋先生のあいさつはどうでしたか。よく聞こえなかったようだね。

みんなに考えてほしいのは、土屋先生のあいさつの仕方です。確かに聞こえない人がいたかもしれません。

でも、もしかしたら・・・すごい悩みがあって、嫌なことがあって、暗い気持ちなのかもしれない。本当はあいさつしたいのだけれど、恥ずかしくて大きな声であいさつができないのかもしれない。元々静かな先生で、あいさつの声は小さいけれど、ハッピーに過ごしているのかもしれない。

そこでみなさん、クラスの友達のことを考えてほしいです。先程の朝のあいさつの時に、「元気～！」と答えた人はいいけれど、クラスの中にはもしかすると嫌なことがあって悩んでいる人いるかもしれません。授業中、本当は発言したいのだけれど、恥ずかしくて発言できない人がいるかもしれません。もともと静かな性格の持ち主で、静かな、幸せな人生を過ごしていて、心配はいらない人もいるかもしれません。遠足や運動会も、もしかしたら心の中で嫌だなあって思っている人がいるかもしれません。

クラスにはいろいろな人がいます。元気な人は、たまいでいいから「クラスの中にはもしかしたらそういう友達がいるかもしれない」ということを考えてほしいと思います。

人の声は、どうやって聞くのでしょうか。

耳だけではなく、目で聞くことができるのかもしれません。周りをよく見て、人の気持ちを考えてほしいと思います。

